

- 問1 1880年代の明治政府において、伊藤博文が憲法の制定に先立って「内閣制度」を創設した主な目的として、背景にある考え方を説明したものはどれですか。 (2017年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 自由民権派の主張を全面的に取り入れ、内閣総理大臣を国民の直接選挙によって選出する仕組みを整えるため。 | 2. 三権分立を徹底させ、内閣が司法権（裁判所）に対して絶対的な指示を出せるような強力な権力構造を作るため。 | 3. 地方自治の権限を強化し、各府県の知事が中央政府の干渉を受けずに独自の憲法を運用できるようにするため。 | 4. 行政組織を近代化し、天皇を補佐する各国务大臣の責任を明確にすることで、憲法に基づく政治（立憲政治）を円滑に運営するため。 |
|---|--|---|---|
- 問2 日清戦争と日露戦争を比較した統計資料において、日露戦争の戦費は約18.3億円と日清戦争の約9倍にのぼる巨額なものでしたが、講和条約であるポーツマス条約の結果、日本が得た内容として正しいものはどれですか。 (2016年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--------------------------------------|--|
| 1. 多額の賠償金を得ることはできなかったが、韓国（大韓帝国）における指導権などを認めさせた。 | 2. 戦費を補うために、ロシアから関税自主権を完全に回復させる約束を取り付けた。 | 3. 約3.1億円の賠償金を得る代わりに、樺太の領有権をすべて放棄した。 | 4. 賠償金は得られなかったが、清から割譲された遼東半島を永久に領有することに成功した。 |
|---|--|--------------------------------------|--|
- 問3 1880年代前半、日本で本格的な政党が結成された背景とその特徴について述べた文のうち、誤っているものはどれですか。 (2016年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 自由民権運動の指導者であった板垣退助は、かつて民撰議院設立の建白書を提出しており、政党結成はその運動が組織化した姿であった。 | 2. 板垣退助が組織した自由党は、主に都市部の知識層を地盤とし、イギリス風の立憲政治を導入することで緩やかな社会改革を目指した。 | 3. 政府が10年後の国会開設を約束したことにより、民権派は議会での多数派工作を見据えて全国的な組織化を急いだ。 | 4. 自由党はフランス流の急進的な民主主義思想に影響を受けており、主権在民などの主張を掲げて全国の農村部などにも支持を広げた。 |
|---|--|--|---|
- 問4 明治時代から昭和初期にかけての日本の外交史を振り返る際、1894年の日清戦争開始よりも前の時期に、ロシアとの国境を画定させる目的で行われた出来事として正しいものを選びなさい。 (2015年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------|----------------|------------|-----------------|
| 1. 小村寿太郎による関税自主権の完全な回復 | 2. ベルサイユ条約への調印 | 3. 日英同盟の締結 | 4. 樺太・千島交換条約の締結 |
|------------------------|----------------|------------|-----------------|
- 問5 明治時代後半、日清戦争で得た賠償金の一部を資金として、福岡県に建設された官営の工場は何ですか。 (2021年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|----------|----------|---------|
| 1. 八幡製鉄所 | 2. 富岡製糸場 | 3. 長崎造船所 | 4. 足尾銅山 |
|----------|----------|----------|---------|
- 問6 ドイツ（プロイセン）などの憲法を調査して帰国した伊藤博文が、大日本帝国憲法の制定に向けて行った活動として、歴史的事実に基づいた正しい説明はどれですか。 (2024年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 板垣退助らとともに、民衆の意見を反映させるため民撰議院設立建白書を政府に提出した。 | 2. 憲法の公布に合わせ、議会から選出される形で初代内閣総理大臣に就任した。 | 3. 天皇の諮問機関である枢密院を設置し、そこで作成した憲法草案の審議を行った。 | 4. 日本で最初の本格的な政党である立憲政友会を結成し、議会の承認を得て憲法を公布した。 |
|--|--|--|--|
- 問7 明治政府が初めて公式に参加し、1873年にオーストリアで開催された博覧会について述べた説明として最も適切なものはどれですか。なお、この博覧会では日本の陶磁器や漆器などの伝統工芸品が展示され、海外で高い評価を受けました。 (2026年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------|-------------|------------|--------------|
| 1. ロンドン万国博覧会 | 2. シカゴ万国博覧会 | 3. パリ万国博覧会 | 4. ウィーン万国博覧会 |
|--------------|-------------|------------|--------------|
- 問8 伊藤博文が明治憲法（大日本帝国憲法）の起草にあたり、イギリスやフランスの憲法ではなく、ドイツ（プロイセン）の憲法を主な手本とした理由として最も適切な記述を選びなさい。 (2024年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 天皇を中心とする強力な統治体制を維持しつつ、近代国家の体裁を整えるのに適していたから | 2. 国民の基本的人権を最大限に尊重し、議会が政府を完全にコントロールする仕組みを求めているから | 3. 大統領制を導入することで、江戸時代の幕藩体制のような地方分権的な政治を目指したから | 4. 当時の日本には政党政治がすでに浸透しており、多党制による政権交代を促す必要があったから |
|---|--|--|--|
- 問9 明治時代の条約改正の歩みをまとめた資料において、1894年に起きた出来事とその内容について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2016年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 欧米風の社交場である鹿鳴館を建設し、欧化政策を進めることで条約改正の承諾を得ようとした。 | 2. 外務大臣の小村寿太郎がアメリカと交渉を行い、関税自主権の完全な回復に成功した。 | 3. 全権大使の岩倉具視が欧米諸国を訪問し、不平等条約の改正交渉に直接臨んだが、時期尚早として拒否された。 | 4. 外務大臣の陸奥宗光がイギリスと日英通商航海条約を締結し、領事裁判権の撤廃に成功した。 |
|---|--|---|---|
- 問10 1900年に北京で発生した義和団事件の際、列強諸国が連合軍を派遣して鎮圧にあたりましたが、その過程でロシアが軍を派遣して占領し、事件の解決後も撤退せずに駐留を続けた地域はどこですか。後の日露戦争の原因の一つとなった地名を答えなさい。 (2016年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|---------|
| 1. 台湾 | 2. 香港 | 3. 満州 | 4. 山東半島 |
|-------|-------|-------|---------|
- 問11 明治時代初期、政府の実権が一部の藩出身者によって独占されている状況を批判し、1874年に「民撰議院設立の建白書」を提出して自由民権運動の先駆けとなった政治家は誰ですか。 (2019年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 木戸孝允 | 2. 大隈重信 | 3. 板垣退助 | 4. 伊藤博文 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問12 明治時代後半、軍備の拡張や鉄道網の整備に不可欠な鉄鋼を国産化するために設立された、北九州に位置する官営製鉄所の名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。 (2019年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|----------|------------|----------|
| 1. 芝浦製作所 | 2. 八幡製鉄所 | 3. 三菱長崎造船所 | 4. 富岡製糸場 |
|----------|----------|------------|----------|
- 問13 日本における文化財保護の歴史的経緯について、明治初期から第二次世界大戦後までの流れを説明した内容として、最も適切なものを選びなさい。 (2019年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 江戸時代から一貫して国家による手厚い保護を受けていたが、日清戦争をきっかけに仏像の破壊が始まり、戦後になってようやく保護が再開された。 | 2. 第二次世界大戦中には文化財の保護が一切停止されたが、戦後の焼失・散逸を防ぐために、初めて有形文化財のみを対象とした法律が整備された。 | 3. 明治初期に廃仏毀釈による破壊が起きた後、国家による保存指示や岡倉天心らの活動を経て、戦後には無形文化財の保護も含まれるようになった。 | 4. 明治初期に寺院の保護が強化されたが、日清戦争後の国民的自覚の低下により文化財が散逸し、戦後に初めて岡倉天心による保護活動が始まった。 |
|--|---|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 行政組織を近代化し、天皇を補佐する各国务大臣の責任を明確にすることで、憲法に基づく政治（立憲政治）を円滑に運営するため。	伊藤博文は、憲法を制定するだけでは近代国家として不十分であり、それを運用する行政組織の整備が不可欠だと考えました。そこで1885年にそれまでの太政官制を廃止して内閣制度を創設しました。これにより、各省の長官である大臣が天皇に対して直接責任を負う体制を整え、強力なリーダーシップのもとで憲法の公布や国会の開設に備えました。
問2	答え 1 多額の賠償金を得ることはできなかったが、韓国（大韓帝国）における指導権などを認めさせた。	日露戦争では日清戦争を大きく上回る戦費が投入され、増税によって国民の生活は困窮していました。しかし、ポーツマス条約ではロシアの財政状況や日本の軍事的限界もあり、賠償金を得ることができませんでした。一方で、韓国に対する指導権の獲得や、樺太の南半分の領有、長春以南の鉄道利権などは認められました。多大な犠牲を払ったにもかかわらず賠償金が「なし」であった事実は、当時の国民に大きな衝撃を与えました。
問3	答え 2 板垣退助が組織した自由党は、主に都市部の知識層を地盤とし、イギリス風の立憲政治を導入することで緩やかな社会改革を目指した。	板垣退助の自由党は「フランス流」の思想を背景に、士族や豪農を主な支持層として全国的に展開しました。選択肢にある「都市部の知識層を地盤とし、イギリス風の立憲政治を目指した」という記述は、大隈重信が結成した立憲改進黨の特徴です。
問4	答え 4 樺太・千島交換条約の締結	明治政府は初期の外交課題として隣国との国境確定を急いでおり、1875年にロシアとの間で樺太・千島交換条約を締結しました。これは日清戦争（1894年）よりも約20年早い出来事です。選択肢にある日英同盟は1902年、関税自主権の回復は1911年、ベルサイユ条約は1919年（第一次世界大戦後）の出来事であり、いずれも日清戦争よりも後にあたります。
問5	答え 1 八幡製鉄所	重工業の自給自足を目指して政府が建設した官営の製鉄所です。1901年に操業を開始し、日本の産業革命を重工業の側面から支えました。群馬県の富岡製糸場は日清戦争より前の明治時代初期に建設された軽工業の官営模範工場であるため、混同に注意が必要です。
問6	答え 3 天皇の諮問機関である枢密院を設置し、そこで作成した憲法草案の審議を行った。	伊藤博文は、ドイツ（プロイセン）流の君主権が強い憲法体系を学んだ後、帰国して憲法草案の作成に取りかかりました。その審議にあたっては、自由民権運動による国民の介入を防ぐため、公の場ではなく天皇の諮問機関として新設された枢密院において、秘密裏に議論が進められました。なお、伊藤が初代内閣総理大臣に就任したのは1885年の内閣制度創設時であり、憲法公布（1889年）よりも前の出来事です。民撰議院設立建白書の提出は、憲法制定より10年以上前の自由民権運動の始まりにあたる出来事です。
問7	答え 4 ウィーン万国博覧会	1873年に開催されたウィーン万国博覧会は、明治政府が国家として初めて公式に参加した国際博覧会です。政府は日本の伝統的な文化や技術を世界に紹介するため、日本庭園を造営し、陶磁器や漆器といった工芸品を数多く出品しました。これにより、欧米諸国で日本文化への関心（ジャポニスム）が高まるきっかけとなりました。1867年のパリ万国博覧会にも日本は参加していますが、これは幕府や諸藩による参加であり、明治政府としての公式参加は1873年が最初です。
問8	答え 1 天皇を中心とする強力な統治体制を維持しつつ、近代国家の体裁を整えるのに適していたから	自由民権運動による憲法制定の要求に対し、政府は天皇の権限が強いプロイセン流の憲法を模範とすることで、国家の安定と近代化の両立を図りました。これにより、主権が天皇にある「欽定憲法」が成立することとなりました。
問9	答え 4 外務大臣の陸奥宗光がイギリスと日英通商航海条約を締結し、領事裁判権の撤廃に成功した。	明治政府は国力を高め、近代的な法典を整備することで条約改正を目指しました。1894年は日清戦争が始まった年でもあり、その直前に陸奥宗光が日英通商航海条約を締結して領事裁判権（治外法権）を撤廃させたことは、日本の国際的地位を高める重要な転換点となりました。関税自主権の回復は1911年であり、日露戦争後のできごとです。
問10	答え 3 満州	ロシアは義和団事件の混乱に乗り、清の東北部にある満州へ自国の鉄道警備などを名目に大軍を派遣し、実質的な軍事占領下に置きました。事件後、他の列強が軍を撤収させた後もロシアが満州に留まり、南下政策を強めたことは、韓国（朝鮮半島）への影響力を確保したい日本にとって安全保障上の大きな脅威となりました。これが1902年の日英同盟締結や、1904年の日露戦争勃発を招く直接的な背景となりました。
問11	答え 3 板垣退助	征韓論をめぐる対立（明治六年の政変）で政府を去った板垣退助は、後藤象二郎らとともに、国民が選んだ議員による議会の開設を求める建白書を提出しました。これが、言論によって政府を批判する自由民権運動の始まりとなりました。
問12	答え 2 八幡製鉄所	明治政府は、軍備の強化や近代化を進めるために、鉄鋼の国内生産を急ぎました。そこで1901年、ドイツの協力を得て北九州に八幡製鉄所が操業を開始しました。これにより、鉄鋼の自給率が高まり、日本の近代産業の基盤が確立されました。富岡製糸場は明治初期にフランスの技術で設立された官営模範工場ですが、こちらは軽工業である生糸の生産を目的としたものです。
問13	答え 3 明治初期に廃仏毀釈による破壊が起きた後、国家による保存指示や岡倉天心らの活動を経て、戦後には無形文化財の保護も含まれるようになった。	日本の文化財保護は、明治初期の激しい廃仏毀釈への反省から、政府による保存の通達や岡倉天心らの民間の活動によって本格化しました。日清戦争を経て国民の歴史意識が高まるも制度整備がさらに進み、1949年の法隆寺金堂壁画の焼失などをきっかけに1950年には文化財保護法が制定されました。これにより、建物などの有形文化財だけでなく、伝統芸能や工芸技術といった「無形文化財」も保護の対象に含まれるようになりました。